

不十分かもしれないませんが、早く復旧・復興いたしたくため、県や町が異例の支援策を創設いたしましたところでは。

復興に向けておおいに活用いただきますようお願いしております。

## 災害現地調査団

### 調査、見舞と激励

地震発生以来次々と見舞や激励に十月七日には早朝より鳥取県片山知事・関係部課長、午後には政府調査団国土庁連実進総括政務次官・政府十三省庁幹部担当官が来られました。

また、県議会広江議長、県議会各議員、谷農林水産大臣・林野庁等関係担当官、自治省消防庁鈴木長官、自治省財政局嶋津局長、鳥取県選出の国会議員相沢国務大臣金融再生委員長、平林郵政大臣、石破農林水産総括



自治省嶋津財政局長、片山鳥取県知事等視察（10/20下黒坂）



谷農林水産大臣視察、災害状況を説明（10/16町長室）

政務次官、常田郵政政務次官、坂野参議院議員代理、山内衆議院議員、部落解放同盟中央本部組板中央執行委員長、県内市町村長及び議長、県境市町村連絡協議会（県境サミット）の市町村長及び議長、鳥取・岡山山鳥ハートライン町村長及び議長、岡山・島根・広島県等選出国会議員、超党派の各政党幹部役員、民間企業及び各種団体役員、東京鳥取県人会天野会長、上村副会長、坂出市松浦市長、関西在住の郷会岩本世話人代表等その他多くの各位から見舞と激励に来訪いただいています。ありがとうございました。

## 迅速、的確な災害救助

### 救援活動に感謝

鳥取県、陸上自衛隊（米子・海田・伊丹駐屯）、広域消防、

黒坂警察署及び県警本部、町消防団等においては、それぞれの役割を分担され、極めて迅速に的確に災害救助・救援・支援・食糧供給、飲料水供給、仮設風呂設置、危険が所調査、治安・交通パトロール、人命・財産保護、火災予防、夜間巡視など地域住民の安全確保にご尽力いただきました。感謝申し上げます。

## ボランティア活動の

### 大きな支援

災害ボランティアセンターを十月七日早朝、役場隣の文化センターの一角に「日野町災害ボランティアセンター」を設置しました。

鳥取県社会福祉協議会対策本部がコーディネートとして、阪神淡路の大震災を経験された兵庫県社協をはじめ、中国・四国・近畿各県の社協及び神戸元氣村、JC青年会議所中国ブロック、県内各市町村職組、消防団、県境サミット市町村、滋賀県日野町駅前商店街、県視覚障害者福祉協会など、十月二十六日現在、県内千九十四名、県外千九十九名、計二千二百八十五名の支援活動をいただきました。

また、黒坂地区コミュニティ、

町内有志ボランティアには、炊出しや独居老人を避難所へ誘導、地区パトロール活動などを自発的に実施。

義援金・見舞品につきましては、日本赤十字社をはじめ、県内外全国各地からお寄せいただきました。

11月1日

## 新日野病院を開院

今回の震災で六十数年地域医療の役割を果たしてきた日野病院（日野・江府・溝口三町一部

## 激甚災害指定など

### 要望活動を展開

地震発生以来今日まで災害救助法の適用と同時に大変なご支援をいただいておりますが、本町の被災が余りにも大きいことにかんがみ、県に対しては西部町村会と一緒に、国に対しては鳥取県片山善博知事を先頭に自治省をはじめ各省庁、関係各大臣、鳥取県選出国会議員各位に次の事項について強く要望することとしています。

①鳥取県西部地震にかかる激甚災害指定。

②災害救助法、激甚災害法指

（組合立）は、大きな被害を受け、再び診療は不能となり、九月末新しく完成したばかりの病院を、県のはからいにより二か月早く開院いたすことになりました。震災当時の入院患者は、鳥大医学部、西部医師会等の配慮により、日南病院・溝口中央病院をはじめ、米子方面の各病院に一時移転患者の皆さんは、十一月十日には新病院に復帰いただくよう、急ピッチで準備を進めています。

定外の団体にも実質的に同等の支援を。

③特別地方交付税の交付に当たり、特段のご配慮を。

④生活支援施策の制度拡充。

⑤商工業、農林業に関する制度融資並びに県費補助の特段の財政支援を。

以上要望活動については、町と議会、西部町村長会及び議長会、県及び県議会が合同で激甚災害指定を受けるべく全力を傾注いたす所存であります。

安原町有地二戸、日野中グラウンド四戸を設置。一戸当たり三〇平方尺、2DK、十月二十〇二十三日入居申請により、十月二十五日選考会を開き二三世帯の方が入居されました。新規の入居希望者があり、第二段階として、さらに二棟四戸を県に要請しています。

## 被災復興に補助金

①住宅復興（日野町内の建築に限る）

▽建築限度額三〇〇万（新築）

▽補修限度額一五〇万円

②石垣・擁壁等補修（住宅等に被害を及ぼす恐れのある破損した石垣等の補修）限度額一五〇万円

③井戸の修復（個人の飲料水井戸補修を行う人）限度額四五万円（町負担四分の三、本人負担四分の一）

以上三件は、県が全国に例のない住宅再建に特例措置として支援策を講じる案を打ち出していただきました。

内容としては、ぜひこの地域



住宅の復興に補助金を

に住み続け、町や地域を支えていただきたいとの一心であり、住宅の建築に三〇〇万円（県が三分の二、市町村が三分の一を負担）。また住宅を補修すればまだまだ住めるという方に、一五〇万円（県・市町村・本人が三分の一ずつ負担）を限度として交付します。なお、補修の本人負担を町が肩代わりする方針です。

また、宅地を支える石垣関連にも、本人負担の三分の一を町が肩代わりする方針。個人の飲料水井戸に対しては、町独自の支援策を打ち立てたところでもあります。

さらに、鳥取県においては、西部地震関連で、生活・福祉・医療関係、住宅関係、商工業・サービス業関係、農林水産業関係の各種融資制度での支援をはじめ▽県税の減免▽私立学校生徒授業料減免補助金▽鳥取県専修学校奨学金申し込み▽県立高等学校授業料減免▽保育専門学校授業料減免▽日本育英会奨学金の緊急採用等々、支援対策が講じられています。

特に住宅復興関連で住宅金融公庫など災害復興住宅融資への利子補給（利率二・一割）当初六年間。また、商工業・サービ



石垣・擁壁等の補修に補助金を

## 家屋等の解体撤去

ス関係では、平成十二年度鳥取県西部地震特別対策資金の制度など、幅広い災害復興に対する補助金、融資、利子補給のメニューが設けられています。

住宅は震災によって新旧を問わず無残な姿と化しました。被害状況調査が進むにつれ、全半壊五五五戸、その中で解体撤去

申請は実に二七八戸に達したと耳にしたとき、絶句と胸の詰まる思いで一杯でありました。解体は、十月二十八日ごろから着手しております。

また、り災証明に伴う被害状況調査については、町が主体となつて県建築士会の協力を得て調査を実施。十月三十一日で調査終了予定です。

## 災害復旧・復興に向けて

### 県・町の異例の支援策を創設

今回の大地震が西部一円を襲い、中でも震源の一つ日野町は、大きな被害を被りました。中山間地で高齢化率県下で二番目に高い町。大きな痛手、ショックがあります。

行政が心一つにして復興に全力を傾注したい考えであります。住宅の建築や補修に対する災

害復興補助金や住宅資金に対する利子補給など、県が中山間地への熱い思いを込めて支援策を配慮いただきました。

町としてもこれに答えるべく、本人負担分を肩代わりしていく措置を講じたいと考えております。被災された町民の皆さんには

# 鳥取県西部地震 M7.3

## 阪神淡路大震災をしのぐ大地震に遭遇

### 被災された皆様に心からお見舞い申し上げます

日野町長 生田 秀正

十月六日に発生したマグニチュード7.3、震度6強という、記憶に新しい阪神淡路大震災をしのぐ大地震に遭遇しました。被災された町民の皆さまに、心からお見舞い申し上げます。

工事現場での土砂崩れによる生き埋め二名、家屋倒壊の下敷き一名の被害が生じたもののいずれも救助が早く助かり、重傷五名、負傷十二名、計十七名。

②住家被害十月二十八日現在 全壊一二二戸、半壊四三三戸、一部破損九五〇戸。

③その他被害 道路七二か所、橋梁一か所、河川二か所、簡易水道七施設、公共下水道一施設、農業集落排水二施設、農地一〇一か所、農業用施設（農道・水路等）一〇六か所、林道八七か所。

④土砂くずれ等危険か所 山林等で家屋に被害があると思われるところ三二か所。

余震も減少してきましたが、依然警戒態勢を敷いております。鳥取県はもちろん、震源地である日野町においても、地震発生後直ちに災害対策本部を設置し、人命尊重、人命救助を最優先に対応しております。

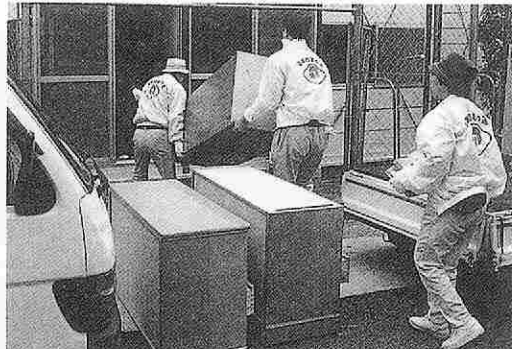
### 被害の概要

#### ①人的被害

①避難所 日野中体育館を含む一〇か所 最大避難七九二名、別に避難勧告二か所三三七七名、七事業

### 救助対策は

#### ①避難所



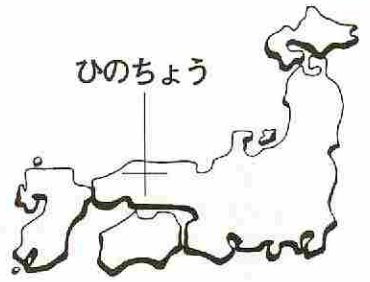
応急仮設住宅にさっそく入居

所でしたが、緊急応急措置を講じ、解除しました。避難所は、現在最小限にしほり、町内一か所一三名が避難しています。

②応急仮設住宅 住宅が滅失した被災者を一時的に居住の安定を図るため、県に設置いただいた住宅です。第一段階として黒坂小グラウンド一二戸、下榎町有地六戸、



全国紙のトップでも鳥取県西部地震が報道された



気高郡の勝谷小学校5年生が日野町小学生に千羽鶴を

## 「日野町」のみなさんへ

夏休みにわざわざ遊びしてもらってありがとうございました。さてテレビでは「鳥取県の日野町が中心地」とか聞いていましたけれど地震のほうは大丈夫なんですか。食料とか水とかは足りていますか。新聞でも「震度6」で「マグニチュード7.3」と書いていました。阪神淡路大震災でも「マグニチュード7.2」だったのに日野町の地震の方が0.1多いので大じょうぶかなと思っていました。あんまりテレビで何日もやっているのでも心配です。奈良県は、「震度2」と書いてあったけどぼくは何も感じませんでした。それで家に帰ったらお母さんに「地震大丈夫やった？」と聞いたのでびっくりしました。そして、テレビをつけると本当でした。家や道路の被害が大変大きいのが知ってびっくりしました。そしてみなさんのことが大変心配になりました。また先生から小学校が休校になっていると聞きました。一日も早く地震の被害から立ち直って楽しい小学校に戻るよう心から祈っています。健康に十分気をつけてみんなで力をあわせてがんばってください。

(奈良県広陵町 真美ヶ丘第一小学校

六年 木谷友翔さん)

## 今月の主な内容

- 日野町小学生に千羽鶴を…… P1
- 町長メッセージ…… P2～4
- お知らせ…… P5
- 余震、2次災害から身を守る…… P6～7
- 町地震災害復興本部…… P8
- H12. 10. 6震災特集号…… 別冊

# 鳥取県西部地震による減免措置

## 税金等の減免

税金等の減免を実施します。

- \*該当になる方は次のとおり減免をし、通知します。(申請の必要はありません)
- \*次の全部について、損害の程度は「り災証明」の区分によります。
- \*対象となるのは、10月6日以降に納期が来る税、保険料です。(前納した方も対象)

### 町県民税・国民健康保険税

り災証明の区分の全壊、半壊が対象です。  
損害の程度及び所得により、全部～8分の1までの範囲で減免します。

### 固定資産税

り災証明の区分の全壊、半壊、一部壊壊が対象です。  
損害の程度により、全部～10分の2までの範囲で減免します。

### 介護保険料

り災証明の区分の全壊、半壊が対象です。  
損害の程度及び所得により、全部～4分の1までの範囲で減免します。

住民ふれあい課 税務係 TEL.72-0333

## 医療費一部負担金、介護保険利用者負担額の減免

鳥取県西部地震で被災された国民健康保険・介護保険被保険者、老人医療受給者のうち、り災証明が全壊または半壊の世帯に属する方は一部負担金が次のとおり減免となります。減免を受けるには申請が必要です。対象となる方は、役場健康福祉課又は黒坂支所で申請してください。

### 国民健康保険

	通常の負担割合	減 額 後
一般被保険者	3割	1割
退職被保険者(本人)	2割	負担なし
退職被保険者(被扶養者)	入院2割・外来3割	入院負担なし・外来1割
期間:全壊の場合 震災のあった日より6月以内 半壊の場合 申請より3月		

### 老人医療

	通常の負担割合	減 額 後
入 院	1,200円	負担なし
外 来	530円	
期間:全壊の場合 申請より6月 半壊の場合申請より3月(ただし地震発生より1年以内に申請してください。)		

### 介護保険

	通常の負担割合	減免後の負担割合
全 壊	10%	所得により全額～5%までの範囲で減免します。
半 壊	10%	所得により3～8%までの範囲で減額します。
期間: 震災のあった日より6月以内		

持参品 国民健康保険被保険者証、老人保健法医療受給者証、介護保険被保険者証、り災証明書、印鑑(認印)

申請場所:日野町役場健康福祉課、黒坂支所/問合せ:☎72-0334(健康福祉課 神崎 猛)

減免制度	減免制度の概要	期 間
保 育 料	全 壊・階層区分を下位に変更 半 壊・ //	6ヶ月
住宅使用料及び改良住宅使用料	全 戸 100% 908,800円/月×2月	10月・11月の2ヶ月 (一部改良住宅は12月を含む3ヶ月)
水 道 料	全 戸 100% 簡 水 4,700,000円×2月	10月・11月の2ヶ月
下 水 道 料	全 戸 100% (公共下水道1,500,000円+農集100,000円) ×2月	10月・11月の2ヶ月
学校給食費	全壊所帯の児童・生徒2/3助成(非課税世帯10/10) 半壊所帯の児童・生徒1/3助成(非課税世帯7/10) ※全・半壊の準要保護児童・生徒(就学援助費)10/10	10月～2月



# 山陰中央新報

はつまつ SUN-IN

発行所 中央新報社  
松江市政383 山陰中央ビル4階  
郵便番号 690-0000  
電話 総合案内

# 鳥取西部 震度6強



10月7日 土曜日  
2000年(平成12年)  
発行所 読売新聞大阪本社  
大阪府大阪市野田区野田5-1-1  
郵便番号 590-8501  
電話 06-6361-1111

# 西部で震度6強



## M7.3 西日本各地で揺れ 人が避難

47人けが、家屋24棟損壊

1つ5人ほど、建物の倒壊4以上の揺れを回

1つ5人ほど、建物の倒壊4以上の揺れを回

1つ5人ほど、建物の倒壊4以上の揺れを回

## 「阪神」並み推定 330戸損壊43人

六日午後二時半ごろ、中国、四国、近畿地方を中心とする西日本から東日本にかけての広い地域で強い地震があった。震源は北緯35.2度、東経135.3度の鳥取西部で、震度の最大は鳥取西部で震度6強であった。震源の深さは約10キロメートルと推定されている。鳥取西部の地震は、阪神・淡路大震災の規模に匹敵する。鳥取西部の地震は、阪神・淡路大震災の規模に匹敵する。鳥取西部の地震は、阪神・淡路大震災の規模に匹敵する。

# 朝日新聞

発行所 朝日新聞大阪本社  
大阪府大阪市北区中津3-1-1  
郵便番号 541-8586  
電話 06-6343-1111

### 丸山園

三六日新報が賞する... 真実の味

### 紙面から

子どもの脳死  
ダイエー、また  
長女薬殺未遂  
文化 23 くらし

## 鳥取県西部地震

# 負傷125人 損壊400棟に

## 気象庁 下方修正

鳥取県西部地震について、気象庁は、震源の深さを約10キロメートルと推定し、震度の最大を鳥取西部で震度6強と推定している。

# 毎日新聞

発行所: 大阪府北区南田3丁目4番5号 〒530-8581 毎日新聞大阪本社  
郵便番号: 0092 郵便局: 毎日新聞社 2000

## NEWSLINE

時代の風 養老 孟司氏

2面 米朝が「反テロ」の共同声明  
6面 不人気2000円札、日銀に「在庫の9~11面 本と出会う」批評と紹介  
23面 検事に「女性性」修習生からブレイク

囲碁と将棋は19面

天気	6時	12時	18時	24時
大阪	12	24	9	10
京都	12	24	9	10
神戸	12	24	9	10
名古屋	12	24	9	10
福岡	12	24	9	10



## 各地の震度

鳥取県西部 震度6強  
鳥取県中部 震度6弱  
鳥取県東部 震度5強  
鳥取県南部 震度5弱  
鳥取県北部 震度5弱  
鳥取県東部 震度5弱  
鳥取県南部 震度5弱  
鳥取県北部 震度5弱

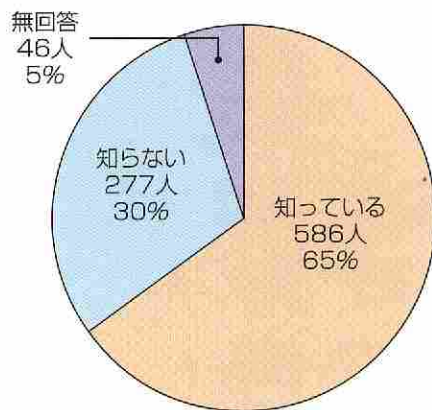




## 防災意識調査結果（住民意識調査より抜粋）

調査年月日	平成13年4月30日
調査対象	全世帯（1,568世帯）
回収率	909世帯（58%）
記入者	20代～30代＝5% 40代～50代＝40% 60代以上＝53%
	男性 50% 女性 45% 不明 5%

○日野町は、災害時に対応するため、地区別に仮避難所を設けていますが、自宅から一番近い所にある仮避難所を知っていますか？

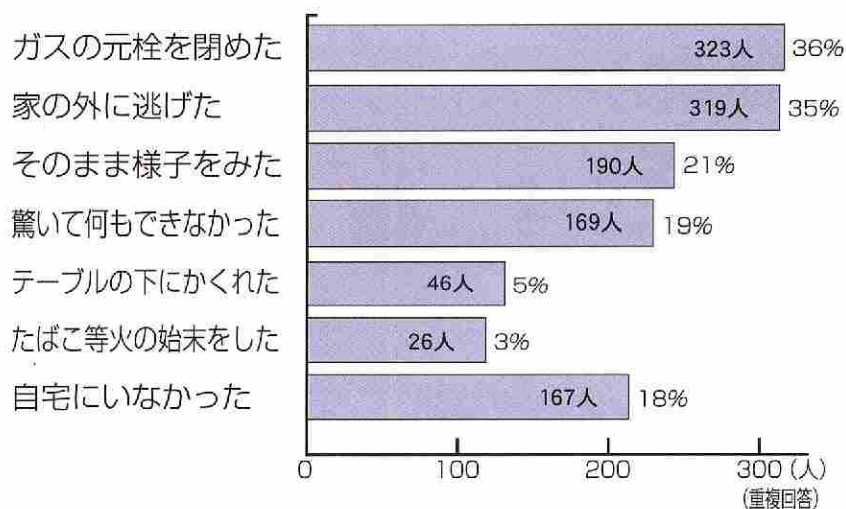


○左記で知っている方と答えた方に伺います。この度の地震で仮避難所へ行かれた家族の人数をお聞かせください。

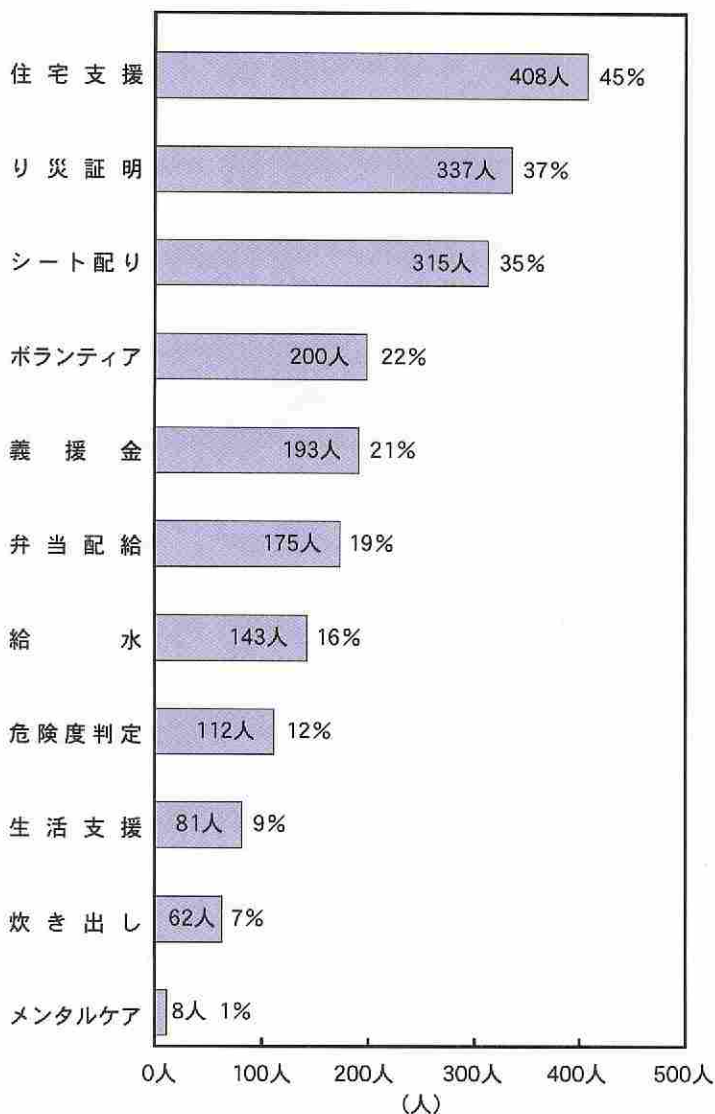
地区	人数
根雨1～6区	162人
根雨在部	60人
日野地区	88人
黒坂1～7区	275人
黒坂在部	72人
合計	657人

※日野町人口4,622人（H13.10.6現在）

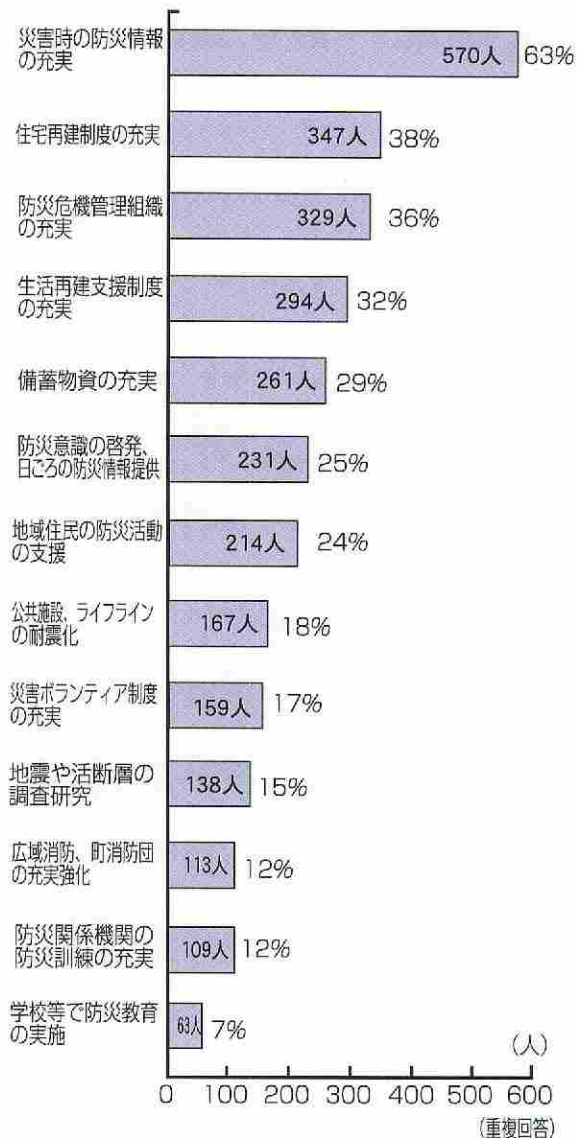
○自宅にいた人で、地震発生時に、とっさにとった行動は何ですか？



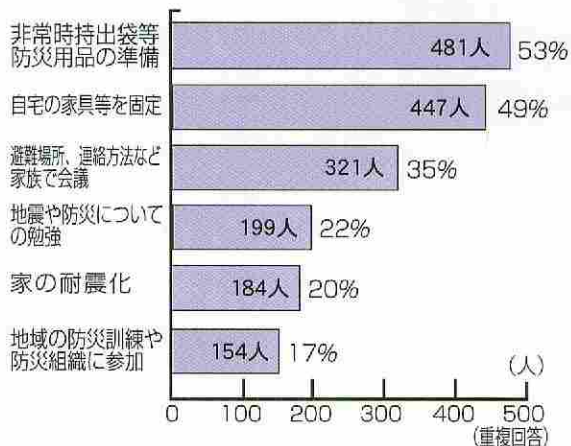
○家族にとって、とても有効であった災害対策は、何ですか？



○今回の地震を契機に、県や町で早急に防災対策を強化すべきと考えることは、何ですか？



○今回の地震を契機（教訓）として、家族で取組みたい防災対策は何ですか？



### 備えておきたい持出品

- ヘルメット
- 手袋
- 衣類（長そで）
- 懐中電灯
- アドレス帳、及び通帳のコピー
- カセットコンロ（予備ボンベ含む）
- カセットラジオ（予備電池含む）
- 現金（小銭含む）
- 救急薬品
- 食料品、水（一人1日3リットル×3日分）
- 携帯ラジオ（予備電池含む）

## ○その他の意見

- ・いまだに疲れがとれなくてからだがつらい、余震があるたびに落ち着かずあちこちを見て回ります。
- ・墓、ブロック塀など倒れたままでなかなか手をつける気にならない。
- ・住宅再建を早くしたいが職人の手配が（順番）が出来ない。このままだと補助金の期間が心配である。…期間の延長を考慮してください。
- ・資金を金融機関で借りようとしても高齢者には貸してもらえない現実があります。公的貸付制度について修理進捗状況に応じて期間延長は出来ないものか検討してください。
- ・災害時における高齢者の支援を考慮してほしいと思います。
- ・公費解体で農業用地についての災害復旧の助成をしてほしい。
- ・早く道路を直してほしい。
- ・山崩れなどで家の危険があるのかないのか調査してほしい。
- ・農業者にとって農機具庫、作業所など解体処理で自力で解体した者に助成がなかった。
- ・店舗併用のためその支援が受けられなかった。
- ・いかに行動すべきかの情報提供がなかった。
- ・給水ははじめからポリ缶に入れて配ってほしかった。
- ・回覧文書の各戸配付ができなかった。
- ・無線が聞こえなかった…外で聞こえる放送施設がほしいと思った。
- ・防災情報の充実を（無線）…震度4以上とか大雨、台風など警報が出たとき。
- ・避難所でのマスコミの取材は遠慮してほしい。
- ・被害調査をもう少し親身になって調査してほしい。
- ・目先にとらわれず再建・復興に向け基準をきちんとして取組んでほしかった。
- ・判定が変わるということで信用ができなかった。
- ・公費解体制度に問題があると思う。
- ・今回の震災では役場からの防災無線からの情報がとても役に立ち心強く思いました。各自自治会単位で備蓄食糧等日頃から準備したらどうかと考えます。
- ・この度の震災の住宅等補助金の交付に大変感謝しております。
- ・住宅再建支援制度は本当に助かりました。
- ・ボランティアの方々の奉仕、義援金に協力して頂いた方に感謝しています。
- ・県、町の敏速な対応に心から感謝を申し上げます。
- ・すべての人の情がありがたく感謝しています。区長さん、行政の方々大変お世話になりました。
- ・町長をはじめ職員の方々にご援助頂き本当に感謝の念でいっぱいです。今更ながら嬉しく今後忘れることは出来ません。ご援助頂き復旧できた事がとても助かりました。後に残った我々が力を合わせ我が町の為に努力をしなければと及ばずながら思っています。
- ・この度の地震では本当に町の職員の方々がよく動いてくださり町民の一人として本当に感謝しているところです。いざというときは、本当に頼もしいなと安心しました。人間的で、若い職員も礼儀正しいし本当に気持ちが良いです。ありがとうございます。復興に向けて、よい町になればと、私は一人暮らしですがみなさんに助けられてこれからも頑張りたいと思います。
- ・大変な災害だったがこれを契機として町が良い方向に進めたらいいと思う。

# 日野町全

昭和六十三年六月印刷  
平成五年八月修正

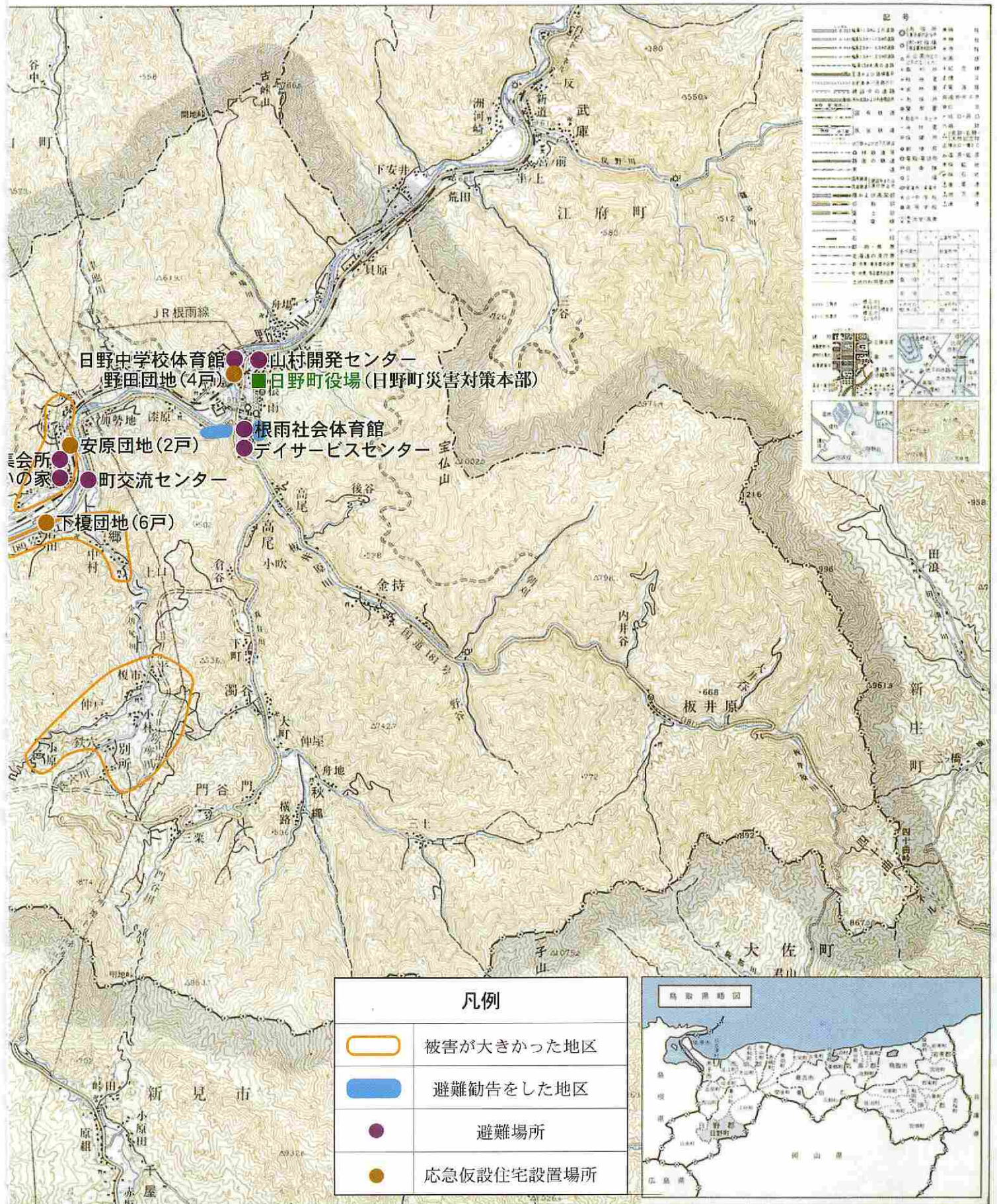


図例表第V表  
等高線間隔20m

1 : 1000  
0 500 1000

株式会社 ジェクト

# 図 (地震関係)



鳥取県日野町

50,000  
2000 3000m

「この地図は、建設省国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。(承認番号)昭59 中複、第371号」

その他の資料(日野町地震地図2001年10月作成)

家屋損壊状況 (り災証明調査から)

(戸)

自治会名	世帯数	全壊	半壊	一部破損	計	自治会名	世帯数	全壊	半壊	一部破損	計
根雨1区	50	2	6	42	50	黒坂1区	46	6	21	19	46
根雨2区	39	1	7	31	39	黒坂2区	30	11	10	9	30
根雨3区	56	2	9	45	56	黒坂上3区	38	16	14	8	38
根雨4区	25	2	5	18	25	黒坂下3区	22	0	11	11	22
根雨5区	66	2	17	47	66	黒坂4区	40	1	16	23	40
根雨6区	102	6	24	65	95	黒坂5区	28	3	3	18	24
貝原	22	0	6	16	22	黒坂6区	21	3	6	12	21
三谷1区	9	0	1	8	9	黒坂7区	34	3	14	17	34
三谷2区	6	0	0	6	6	久住	21	3	10	8	21
高尾	35	0	0	35	35	下黒坂	29	8	17	4	29
後谷	6	0	0	6	6	根妻	1	0	1	0	1
金持	45	0	2	43	45	下菅	21	3	2	16	21
板井原	28	0	0	28	28	中菅	24	1	11	12	24
濁谷	34	1	2	31	34	中菅中央	13	3	3	7	13
門谷	31	0	5	26	31	近江	6	0	1	5	6
秋縄	25	0	0	25	25	畑	6	0	0	6	6
三土	14	0	0	14	14	小河内	19	0	7	12	19
舟場	81	0	11	51	62	布瀬谷	2	1	0	1	2
野田	72	0	9	58	67	下上菅	15	1	4	10	15
津地	43	1	9	33	43	中上菅	25	1	7	17	25
安原	35	7	15	13	35	上上菅	18	0	7	11	18
下榎1区	22	8	12	2	22	井ノ原	6	0	1	5	6
下榎2区	113	18	64	14	96	諏訪	15	0	1	14	15
上本郷	37	5	23	9	37	漆原	11	0	3	8	11
下本郷	24	0	4	12	16	下福長	12	0	6	6	12
榎市	17	3	10	4	17	小計	503	64	176	259	499
別所	27	4	20	3	27						
小原	8	3	4	1	8						
小計	1,072	65	265	686	1,016	合計	1,575	129	441	945	1,515

※60戸(公営住宅、官公署住宅等60戸は調査から除外)

応急仮設住宅(最大入居時)

団地名	設置場所	戸数	入居世帯	人員
黒坂団地	黒坂(黒坂小グラウンド)	16	16	35
下榎団地	下榎	6	6	19
安原団地	安原	2	2	3
野田団地	野田(日野中グラウンド)	4	4	15
計		28	28	72

避難勧告

地区名	世帯数	人員	備考
根雨1区	20	31	10/6~10/13
根雨2区	3	6	10/6~10/13
下本郷	10	40	10/10~10/13
計	33	77	

避難所収容人数調べ

(人)

避難所	区分	10月6日	10月7日	10月8日	10月9日	10月10日	最終日	計
根雨社会体育館	住民	61					10月6日	61
	入院患者	64	63				10月7日	127
日野中学校体育館	住民	130	200	112	69	54	10月13日	694
山村開発センター	住民	122	80	29	28	9	10月12日	277
黒坂小学校体育館	住民	152	152	66	85	30	10月13日	523
町公民館	住民	98	98	28	34	23	10月17日	364
老人福祉センター	住民	100	130	63	54	38	10月13日	861
菅福小学校体育館	住民	35	43	27	25	9	10月13日	174
日野町老人憩いの家	住民	70	70	36	21	24	10月15日	289
下榎集会所	住民	40	48	14	12		10月9日	114
久住集会所	住民						10/12~10/15	3
町交流センター	住民	28	28	28	25	30	10月27日	270
デイサービスセンター	住民		18	18	15	6	10月14日	77
計		900	930	421	368	223		3,834

# 鳥取県西部地震による交通規制図

第3報

平成12年10月18日15時現在



凡例

全面通行止	
国道の主な片側通行	

鳥根県

広島県

岡山県

## 夜間全面通行止

10月23日21時～10月29日5時の間  
 毎日21時から翌朝5時まで  
 仮設防護柵設置工事のため  
 迂回路  
 ①上石見黒坂(T)線～②花口下石見線～  
 農道 大倉北線～④新見日南線

全面通行止箇所表

新	路線名	場所	迂回路	復旧見込み
①	(主)西伯樺雨線	西伯町東上	②清口伯太線、③日野清口線	未定
②	(主)日野清口線	清口町中祖	④181号～⑤新見中祖線	未定
③	(主)日野清口線	日野町下黒坂～清口町上代	(-)西伯樺雨～(国)180号迂回路	未定
④	(-)米子空港境池(T)線	境港市小幡津	出米子境池線	未定
⑤	(-)西伯伯太線	西伯町法勝寺～伐株	(国)180号～(主)清口伯太線	未定
⑥	(-)大瀧白水線	清口町大坂	(主)岸本江府線～(主)倉吉江府清口線～(国)181号	未定 10/18 15:00
⑦	(-)菅沢日野線	日野町久住	(国)180号	未定

※ 通行には十分ご注意ください。

お問合せ先 鳥取県土木部道路課 電話 0857-26-7351

## 編集後記 — 記録集発行を願みて —

記録集編集部会長 矢田貝 勝

鳥取県西部地震の発生から、一年が経過しました。最近では余震の回数もめっきり減りましたが、私たち被災者の脳裏から防災意識を忘却させないようにと、日野町では鳥取県西部地震一周年事業実行委員会を発足させることになりました。

取り組み内容としては、「①町をあげての防災訓練の実施②ガレキ仮置き場跡地に復興祈念植樹③震災・復興記録集の作成」を事業計画化し部会の編成を行いました。その上で、各部会ごとに取り組み内容を詳細に検討し、地震発生日にあたる10月6日に防災訓練を、同14日には植樹をするようにしました。

記録集編集部会では、『鳥取県西部地震2000.10.6日野町の災害・復興への記録』というタイトルで、ようやくここに発行の運びとなったものです。当初、記録集部会では復興体制の確立を目当てにして、やや長期的展望に立って考えておりました。しかし、編集会議を何回か重ねる中で、住民サイドを意識した効果前面に出す考えに変えました。なぜならば、復興途上であっても、その構えや兆しとともに、住民生活に落ち着きが見られる今の時期にこそ、むしろ防災意識への効果が強められるのではないだろうか、という考え方に立ったからです。そして、皆さんの貴重な体験を風化させないためにも、一周年目という節目を基盤に据えて記録にまとめ、形あるものとして残すことにしました。是非とも多くの方々に御一読を願い、各人が地域等において防災意識を高めるための一助になれば、記録部会員一同幸甚に存じます。

原稿執筆者や関係諸機関等には、急なお願いで御迷惑をおかけしましたが、快く御協力をいただきました。その御厚意をありがたく思っております。ここに、厚く御礼申し上げます。

平成13年11月30日

〔記録集編集部会委員〕

部会長	矢田貝 勝		
副部会長	細田 耕治		
委員	小谷 三郎	生田 安子	山川 洋介
	生田 妙子	小藤 一郎	
	松本 利秋	杉本 準一	松田 暢子
	音田 充	妹尾 秀博	頭本みどり
	伊田 喜浩		